

ア. 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進



I 主な施策

❖ 出羽三山修験の里の歴史文化の継承と発信

❖ 史跡松ヶ岡開墾場の建造物の保存と活用による地域活性化

❖ 映画ロケを活用した情報発信と地域経済の活性化

❖ 観光施設の連携による周遊・滞在型観光誘客の充実

II 成果指標 (KPI) の実績

(1)



(2)



III 成果指標 (KPI) の分析

(1)

2024年度は、2022年度より増加しているものの、2023年度に比べると、卯年御縁年が終わったことや夏場に天候不順が続いたことで月山（羽黒口）や羽黒山の観光客数が大幅に減っていることから、全体としては2万人程度減少する見込み。

(2)

2024年度は2023年度とほぼ同数で、引き続き欧米からの来客が多い。

IV 課題と今後の取組

(1)

○出羽三山地区については、個人客や若い客層へ向けての誘客対策を行うとともに、混雑・緩和・二次交通の整備・十分な情報発信など受け入れ環境の不便解消をはかることにより誘客増を目指す。

○手向地区については、景観整備事業の成果を活かし、宿坊街の街歩き誘導促進を図る。

○松ヶ岡地区については、青空マルシェの定期的な開催などを通して、地域の産業と観光を結び付ける取り組みを行うとともに、食のスポットとしてブラッシュアップを図る。

○二つの日本遺産（出羽三山・松ヶ岡）を中心に、それぞれの地域の観光資源を磨き上げるとともにそれらを結びつけた周遊プランや地域としての紹介を強化する。

○その他、2025年の羽黒山五重塔の屋根改修完了記念事業や2026年の羽黒山午年御縁年記念事業など、時期を捉えた誘客を今後とも進めていく。

(2)

○外国語による情報発信の強化と受け入れ環境整備を推進していく。